

# EA711GL-1(ケーブルチェッカー)取扱説明書

Ver.1.0

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

## ●機能/適用

- ・電話線、ネットワークケーブル、テレビケーブル、電気配線のケーブルの検出
- ・一般的に使用されるプラグ接続のテスト用アダプター(RJ11、RJ45、TV同軸ケーブル)
- ・色々なタイプの導体に接続する端子の様々なテスト
- ・ケーブルの簡単な識別のための音信号

## ●トランスミッター

- ・本器の改造をしないで下さい。
- ・本器はその目的に従って、また仕様の範囲内でのみ使用して下さい。
- ・本器に極端な温度または著しい振動の様な機械的ストレスを与えないで下さい。
- ・電池カバーを開く前に、すべての測定回路からテストを外して下さい。
- ・電圧下での測定はできません。従って常に測定回路がゼロ電圧になっていることを確認して下さい。ゼロ電圧の下で測定して下さい。
- ・**活線の近く、または直接活線で測定をしないで下さい！** 致命的な感電や装置の損傷の恐れがあります。
- ・すべての高電圧コンデンサが放電していることを調べて下さい。
- ・送信側は、試験するラインに測定電圧が掛ります。これにより、機密性の高い電子機器(ネットワークカードなど)が損傷する可能性があります。従って測定前に敏感な電子機器に属する物を検査対象ラインから絶縁して下さい。
- ・子供の手の届かないところに保管して下さい。

## ●仕様

### トランスミッター

- ・出力電流 … 10mA
- ・測定長さ … 100m以下
- ・電源 … 単4電池 × 2本 (テスト電池付属)
- ・サイズ … 80 × 46 × 152 (H)mm

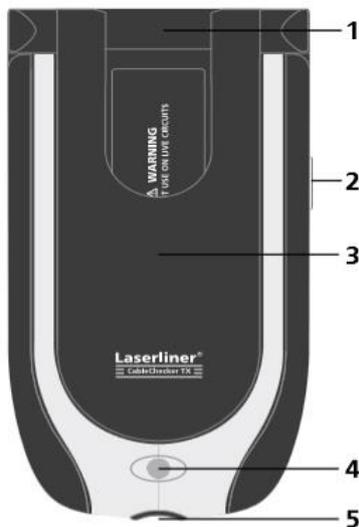
### レシーバー

- ・出力電流 … 30mA
- ・SCANモード測定レンジ … 0~50mm(深さ)
- ・電源 … LR44 × 4個 (テスト電池付属)
- ・サイズ … 26 × 17 × 148 (H)mm

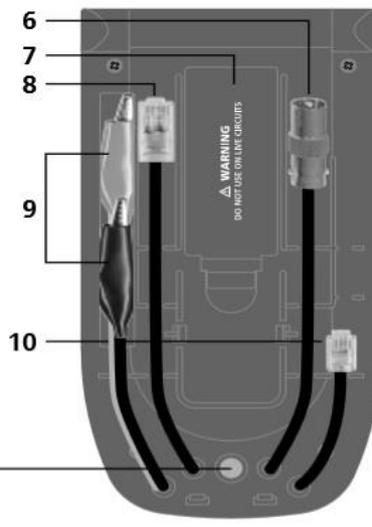
## ●各部名称

<トランスミッター>

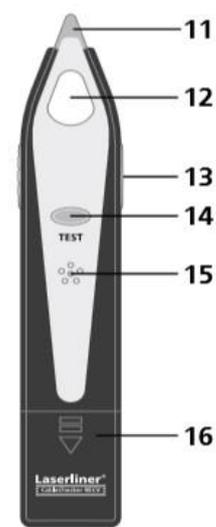
表



カバーを開けた状態



<レシーバー>



1 レシーバー置台

2 ON/OFFスイッチ(側面)

3 カバー

4 ステータスLED

5 カバー開け口

6 TV同軸アダプター

7 電池ボックス

8 RJ45アダプター

9 ケーブルターミナル

10 RJ11アダプター

11 テスト先端

12 ステータスLED

13 音量スイッチ(側面)

14 テストモードボタン

15 スピーカー

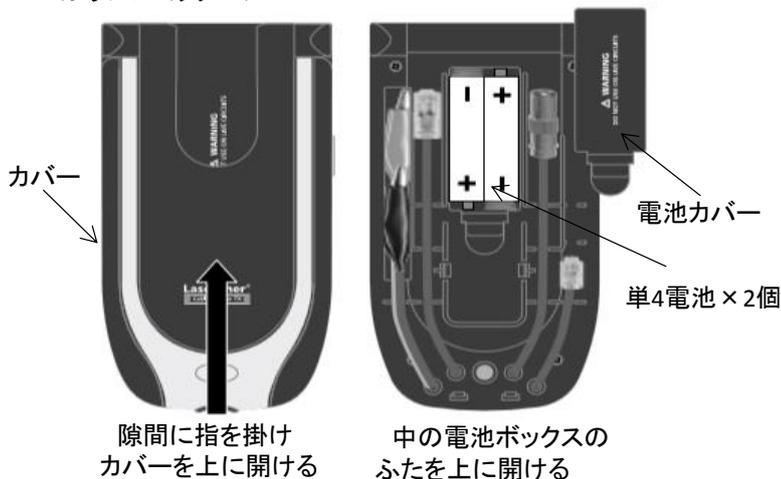
16 電池ボックス

- ◎ 次の様な場合は電池を交換する必要があります。  
 ・ステータスインジケータが暗いとき、レシーバーの電池を交換して下さい。  
 ・音量コントロール(13)の位置が変わらないにも関わらず、音量が弱くなった場合

● 電池の入れ方(下図参照)

- ・トランスミッターの電池を交換する場合、レシーバーの電池も交換をお勧めします。  
 ・トランスミッターの電池カバーを開ける前に電源を切って下さい。

<トランスミッター>



<レシーバー>



オートオフ機能

電池を保存するために、30分間放置すると自動的に電源が切れます。

● 使用方法

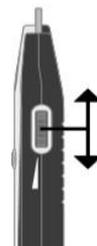
2a トランスミッター TX

1. カバー(3)を開きます。
2. 必要なテストアダプターを引き出し 開口部(5)に通します。
3. カバー(3)を閉じます。
4. テストアダプターを回路に接続します。
5. トランスミッター(2)をオンにし、ステータスインジケータ(4)が点滅します。



2b レシーバRECV

1. テストモードボタン(14)を押し続けます。
2. レシーバーをトランスミッターに近づけます。
3. 信号音が鳴り、ステータスインジケータ(12)が点灯したら、両方の機器が使用準備OKです。
4. 信号に従って下さい。



音量減少  
/測定深さ

音量増加  
/測定深さ

2c ヒント

- ・ケーブルをより効率的に配置するには、コントロール(13)を使用して受信機の信号音量を徐々に下げます。ケーブルは音量の違いによって検索する事ができ、ステータスLED(12)が明るく点灯する、または大音量で表示します。
- ・最良の検索結果は、テストプローブ(11)がケーブルと直接金属と接触している場合に得られます。この接触は大きい信号音を生み出します。また、ケーブルの端(図a)または個々のワイヤ(図b)でより強い信号音を得ることができます。
- ・並列電源ラインがテストリードに共鳴する干渉を生成することがあります。外部干渉が大きすぎる場合は、可能であれば測定中に家庭用電源を切って下さい。
- ・テストリードのリターン導体またはシールド導体をアースすることで、発生する干渉(ブザーなど)を軽減できます。しかし、自分の手や指で接地するだけでも十分です。

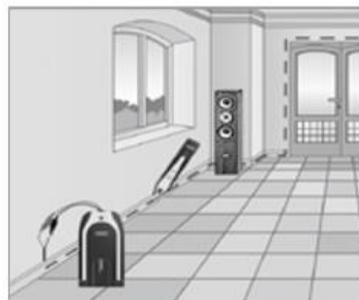


### 3 ケーブルの検索



測定回路の電源を切って下さい(電位差を0に)して下さい。  
ケーブルおよび周囲のシールド(金属カバー、金属製の支持など)は、レシーバーの検知範囲を狭くします。

ケーブル端子(9)を必要なケーブルに接続します。次に、テストモードボタン(14)を押したまま、レシーバーを使用して回線を検索します。最大測定深度を達成するには、レシーバーの信号音量をできるだけ高く設定します(13)。



1本のケーブルをトレースするには、赤色の端子をトレースするケーブルに、黒色の端子をアース(アース線またはシールド)に接続します。ケーブル内の2本の信号線に接続すると信号が弱くなります。

### 4 LANケーブルの検索



干渉を避けるために、すべてのネットワークプラグ接続を外して下さい。

RJ 45アダプタ(8)をネットワークソケットに接続します。次に、テストモードボタン(14)を押したまま、レシーバーを使用して回線を検索します。



### 5 TVケーブルの検索



干渉を避けるために、建物のテレビケーブルを外して下さい。特にTVソケットには、測定に悪影響を与えるフィルターが含まれている場合があります。この場合は、TVソケットを取り外し、ケーブルで直接測定して下さい。

TV同軸アダプタ(6)をテレビソケットに接続します。次に、テストモードボタン(14)を押したまま、レシーバーを使用して回線を検索します。

### 6 電話線の検索



干渉を避けるために、建物の電話線を外して下さい。

RJ 11アダプタ(10)を電話ソケットに接続します。次に、テストモードボタン(14)を押したまま、レシーバーを使用して回線を検索します。



電気が流れていない配線でご使用下さい。  
活線で使用するすると怪我をする恐れがあります。  
ご使用前に必ず回路に電気が流れていないことを確認して下さい。



改造はしないで下さい。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ  
本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14  
TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

18.Dec